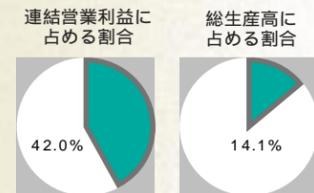


地域別業績

日本



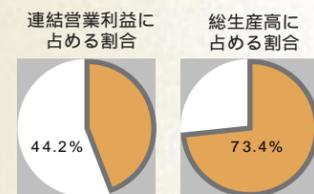
日本はミネベア・グループの本社所在地であり、軽井沢製作所と浜松製作所は海外工場のマザー工場として機能しています。この2つの製作所では主に新製品の開発及び試作・少量生産や、製造技術の開発、海外工場の支援、海外従業員の研修のほか、品質管理や環境保全活動の統括並びに海外工場での同活動の支援を行なっています。また、藤沢、大森、京都などにある他工場では、国内顧客向けを中心とした製品を生産しています。

日本は当社最大の市場ですが、当期は景気低迷の影響を受け、日本国内の需要は低調でした。この結果、1999年度の国内売上高は121,123百万円と前期比1.5%の減収となり、連結売上高に対する比率は39.7%でした。営業利益は、

16,190百万円と前期比19.5%の増益となり、連結営業利益の42.0%を占めました。また、国内生産高はグループ全体の14.1%となりました。

なお、前期に軽井沢製作所が環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」認証を取得したのに続き、当期中に国内の全工場での同認証の取得を完了致しました。

アジア(日本を除く)



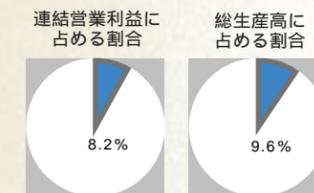
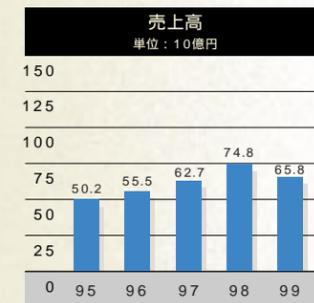
タイ、シンガポール、中国、台湾に所在する製造拠点の生産高はミネベア・グループ全体の生産高の73.4%を占め、製品のほとんどは世界市場向けに輸出版売されています。なかでもタイ工場ではボールベアリングや小型モーター、キーボードなど主力製品の大半を一貫生産しており、生産高はグループ全体の56.8%にのびります。

また、近年は日本や欧米のパソコンや家電製品メーカーのアジア地域への生産拠点のシフトが進んでおり、当地域は当社にとって日本市場に並ぶ大きな市場となりつつあります。当地域の当期売上高は77,038百万円と前期比11.1%の減収となり、連結売上高の25.2%を占めました。また、需要の減少や製品価格の低下等の要因が、当地域に

大きく影響した結果、営業利益は17,022百万円と前期比56.7%の大幅な減益となり、連結営業利益に占める比率は44.2%となりました。前期の営業利益はタイパーツの暴落という特殊な要因により突出した数字だったことも、前期との比較で当期の営業利益が大幅に減った要因の一つといえます。

なお、当社最新の量産拠点である中国の子会社は、当期は通年で利益を出すなど順調に展開しております。また、ボールベアリングを生産するタイの子会社2社が、前期のシンガポールの子会社2社に引き続き、米国自動車業界から品質保証規格「QS-9000」を取得致しました。

北・中南米



米国では現地市場向けを中心に、ロッドエンド&スフェリカル・ベアリングやローラーベアリング、小型モーターを製造しています。更に当期はメキシコにタイ工場で量産している自社製キーボードの北・中南米向け言語の印刷及び倉庫機能を持った工場を新設し、同地域での顧客サービスを強化致しました。一方、北米や南米の販売拠点はミネベアのアジアの製造拠点で生産された製品を輸入し、北・中南米の市場で販売しています。

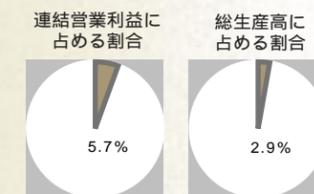
米国子会社New Hampshire Ball Bearings, Inc.で製造されるロッドエンド&スフェリカル・ベアリングやローラーベアリングなどの売上高は、過去数年間に合理化と生産性の引き上げなどを徹底に行なった成果により、順調に推移致しました。また、小型モーターの製造子会社であるHansen Corporationの業績も引き続き好調でし

た。一方、販売子会社への電子機器部品を中心としたパソコン関連業界からの受注は前期に比べて低調に推移致しました。

この結果、当地域の当期売上高は65,806百万円と前期比12.1%の減収となり、連結売上高の21.6%を占めました。営業利益は3,150百万円と前期比21.0%の減益となり、連結営業利益の8.2%でした。また、生産高はグループ全体の9.6%となりました。

一方、品質評価を目的として米国デトロイト市に設立したテクニカルセンターが本格稼働を開始するなど、ビッグ3向けを中心とした自動車業界向けのボールベアリングの需要への対応を強化致しました。

欧州



英国の工場では欧州市場向けを中心に、航空宇宙関連及び鉄道・自動車向けのロッドエンド&スフェリカル・ベアリングや、パソコンや家電製品向け小径ボールベアリングを生産しています。ドイツのPrecision-Motors-Deutsche-Minebear-GmbHではHDD用スピンドル・モーターを中心とした小型モーターの設計・開発を行ない、スコットランドのMinebea Electronics (UK) Ltd.ではスイッチング電源の設計・開発を行なっております。これらの製品の量産はタイ工場で行なわれています。スコットランドの工場ではタイ工場で作られたキーボードの欧州向け言語印刷を行なっています。

更に、当期には英国のアンドーバー市に英国子会社NMB (U.K.) Ltd.の1部門としてファン・モーターの研究・開発部門を新設致しました。こ

のような製造拠点のほか、英国、ドイツ、イタリア、フランスに販売拠点を展開し、アジアにあるミネベアの主力工場を中心に製造された製品を輸入し、欧州地域で販売しています。

欧州の航空機関連業界は前期に引き続き活況を呈し、英国子会社Rose Bearings Ltd.で製造されるロッドエンド&スフェリカル・ベアリングの売上高は好調に推移致しました。また、キーボードや小型モーターなどパソコン関連業界向けの製品への需要も堅調でした。

当地域の売上高は41,357百万円と前期比0.6%の減収となり、連結売上高の13.5%を占めました。営業利益は2,184百万円と前期比9.7%の増益となり連結営業利益の5.7%となりました。また、生産高はグループ全体の2.9%でした。